

# 大昭和精機株式会社



## ツーリングで国内トップシェア

BIGのロゴとコバルトブルーのコーポレートカラーが特長的な大昭和精機。治具メーカーに勤務していた北口良一会長が脱サラし立ち上げ、今では670人の従業員を抱える企業に成長した。国内トップのシェアを持つツーリングの製造から、RF-IDシステムの開発・販売・ソリューションまで事業内容は多岐にわたり、製品総数は実に20000点を数える。

下の精度が要求されるツーリングは世界中で高い信頼を得ており、スイス、ドイツ、スウェーデン等海外の提携先も多い。小径の刃具は高速で回すと効率が良いことに着目し、主軸の回転を増速して高能率、低振動を実現した増速スピンドルは昭和45年開発のヒット商品で、「タップシリーズ」とともに会社の基礎を築いた。端面を密着させることにより、基準径をフランジ外径まで増大させ、剛性と精度を1ランク高めることに成功した二面拘束システム（第23回発明大賞受賞品）の開発も画期的だった。

創業から10年後には現場ではマシンニングセンターが主流となり、すべての動きがコンピュータ制御となった。1台の機械に多様な要素が必要となり、穴の大きさ、面、刃物の自動交換、送りの技術等を見直し、対応した。さらにCNCの導入が進み旋盤関係も複合機化すると、場所を移動せず製品を反転させなくても、表、裏両面が加工できるシステムを開発した。

## 「ファクトリーマネージャ」で業務の流れをシステム化

業界では熟練技術者が慢性的に不足しているのが現状だ。しかも人材育成には5〜10年はかかるという誰が作業しても、機械の能力を最大限反映させることができないかと考え、同社が開発したのが「ファクトリーマネージャ」だ。これはCAD/CAM加工シミュレーションといったパソコンを利用する市販ソフトや工作機械等の優れた機能をインターフェイス化し、誰でも簡単に加工ができるように導くもの。正確なプログラムさえ作っておけば、初心者任せられることもできる。加工をはじめとする業務の流れをシステム化

# 「高品位合衆国」が不変のテーマ



したことで、工具の一元的な管理や安定した技術提供を可能にした。困っている問題と向き合い、どんな小さな声にも耳を傾け様々な技術を開発してきた同社。ニーズに応えるだけではなく、常にニーズの先をいくことを実現してきた。妥協のないクオリティを求めた結果だ。北口会長は言う。

「すべてに質の高さを追求する私たちの姿勢を、高品位合衆国と名づけ、不変の企業テーマとしています。私たちはモノづくりを支えるための、モノづくりメーカーなのです」。

## 主な事業内容

保持 機械 保 持  
工具、FAシステム  
関連の精密測定  
機器の開発、FA  
製造・販売、FA  
工場内管理ソフト、RF-ID(非  
接触自動認識  
装置)システム  
の開発等



北口良一さん  
代表取締役会長

## Company Profile

大昭和精機株式会社

住所 / 〒579-8013  
大阪府東大阪市西石切町3-3-39  
設立 / 昭和42年10月  
資本金 / 9,553万円  
従業員 / 670名 (平成21年1月現在)  
TEL / 072-982-2312  
FAX / 072-980-2231



ISO 9001

<http://www.big-daishowa.co.jp/>